

紅葉の京都・大山崎山荘美術館をたずねて

開館 20 周年記念展

「うつくしいくらし、あたらしい響き～クロード・モネ」鑑賞
お昼は萬福寺の普茶料理をいただきます

日程 11月22日(火)日帰り **参加費** 13,000円 (定員 40 名/先着)

【行程】 美術博物館 7:30→7:50 豊川 IC→(亀山 JCT・草津 JCT・京滋バイパス)→宇治東 IC→11:15 萬福寺山門前「白雲庵」(普茶料理の昼食) 13:00→宇治西 IC→大山崎 IC→13:40 大山崎山荘美術館 15:40→久御山淀 IC→豊川 IC→19:30 美術博物館

* 今回バスのお席は自由席(当日先着順)となります。

アサヒビール 大山崎山荘美術館 (京都府大山崎町)

関西の実業家・故加賀正太郎が、京都の街を眼下に一望できる風光明媚なこの地を選び、別荘として大正から昭和初期にかけ建設したものが「大山崎山荘」である。

加賀とアサヒビール株式会社初代社長・山本為三郎の親交が深かった縁から、同社が創建当時の姿に修復し、安藤忠雄氏設計の新棟「地中の宝石箱」などを加え 1996 年に美術館として開館した。

開館に際し寄贈された山本為三郎コレクションが所蔵品の中核をなし、柳宗悦、河井寛次郎、濱田庄司ら民藝の作家たちの優品が常設展示されている。

また、約 5500 坪の庭園には数多くの植物が配され、四季折々に眼を楽しませてくれる。

開館 20 周年記念展 「うつくしいくらし、あたらしい響き～クロード・モネ」

同館所蔵のモネ作品8点を一堂に公開するとともに、国内美術館等から厳選された珠玉の作品をあわせた20点で、モネの作品と生きた時代をふりかえる。

黄檗普茶「白雲庵」(昼食) 黄檗宗大本山萬福寺山門前 (宇治市)

精進料理を代表する四派(黄檗、大徳寺、高野山、永平寺)の一つであり、伝統を誇る老舗。黄檗普茶料理は、萬福寺開祖の隠元禅師が渡来の際、黄檗宗とともに中国からもたらした。二汁六菜を中心とする。

◎お申込み 9月15日(木)より受付開始!

美術博物館窓口へ直接、またはお電話でお申込みください。[TEL.0532-51-2882]

* 電話申込の場合は、2週間以内に参加費をお納めください。* 定員になりしだい締切とさせていただきます。申込少数の場合は中止となることがあります。* 開催前一週間以内のキャンセルは 20%～100%のキャンセル料をいただくことがあります。

* 参加費には、バス代、美術館観覧料、昼食代、旅行保険料などが含まれます。

豊橋市美術博物館友の会 〒440-0801 豊橋市今橋町 3-1(美術博物館内) TEL. 0532-51-2882

キ リ ト リ

<'16 秋—友の会研修旅行 申込書>

NO. _____

平成 28 年 月 日

| | | | |
|------|---|-------------------|-----|
| 会員番号 | 年齢・性別 | () 歳 | 男・女 |
| 氏名 | | | |
| 住所 | 〒 _____ | | |
| | 電話() _____ | ※携帯電話など当日ご連絡のつく番号 | |
| 乗車場所 | <input type="checkbox"/> 豊橋市美術博物館 <input type="checkbox"/> 豊川インター (ヤマサちくわ前) | | |